

陽の光に春の兆しを感じられるようになりました。皆様のおかげと、仙台市立病院が赤ちゃんにやさしい病院（BFH）に認定され、早くも7ヶ月が経過しようとしています。日々、たくさんのお母さん赤ちゃんとの出会いのなかで、今後もBFH認定病院としてより充実した母乳育児支援を目指していきたいと思っております。

仙台市立病院 育児サークル「TeTeサークル」の紹介

育児サークル TeTeサークルは、退院後のお母さんと赤ちゃんへの支援のひとつとして、毎月第4火曜日 13時30分～周産部の研修室で開催しています。毎回10組ほどのお母さんと赤ちゃんが参加されています。毎月様々なテーマにて助産師はもちろん、小児科医師や栄養士も関わっており、予防注射や補完食(離乳食)などの相談にも応じています。

今回、TeTeサークルでお母さん赤ちゃんと一緒に楽しい時間を共有している助産師の菅野和恵さんに、サークルの様子についてお話をお聞きしました。菅野さん自身も3人のお子さんを完全母乳で育てた経験のあるベテランママです。

TeTeサークルでお母さんと赤ちゃんに関わる際は
笑顔でゆったり関わる事を心がけています。



サークルでは参加されたお母さんが自由に話し合う時間もあり、自然に会話が弾んでいる様子が伺えます。徐々にリーピーターも増えて、お母さんからは自分の子どもだけでなく、お互いの子どもの成長も感じられ楽しい時間が過ごせるとの感想も聞かれます。

母乳育児はお母さんがリラックスしていると、赤ちゃんにも伝わりゆったりとおっぱいを飲みます。そんな赤ちゃんを見て、お母さんはますますかわいいと感じ愛情が深まっています。お母さんと赤ちゃんがそのような楽しい育児の時間を送ってもらえるといいなと思って、日々支援に携わっています。

はじめはわからない事や不安な事があるかもしれませんが、でも、赤ちゃんがたくさんのお母さんの時間を一緒に過ごして触れ合っているうちに、母としての自信がついてきます。育児は大変と感じる時もあると思いますが、それに以上にたくさんの幸せを感じる事があります。家族みんなで赤ちゃんといっぱい触れ合って、今の時間を大切に育児を楽しんで下さい。

ぜひ皆さんも、TeTeサークルにいらして下さい。一緒に楽しい時間を過ごしましょう！

更に詳しいTeTeサークルの活動内容は
仙台市立病院のホームページに掲載されて
いますので、ご覧下さい



